



# WorkWithPlus

## リリースノート

バージョン:	7.2
作成日:	2014 年 3 月 19 日
互換性:	GX X Ev2、GX Tilo



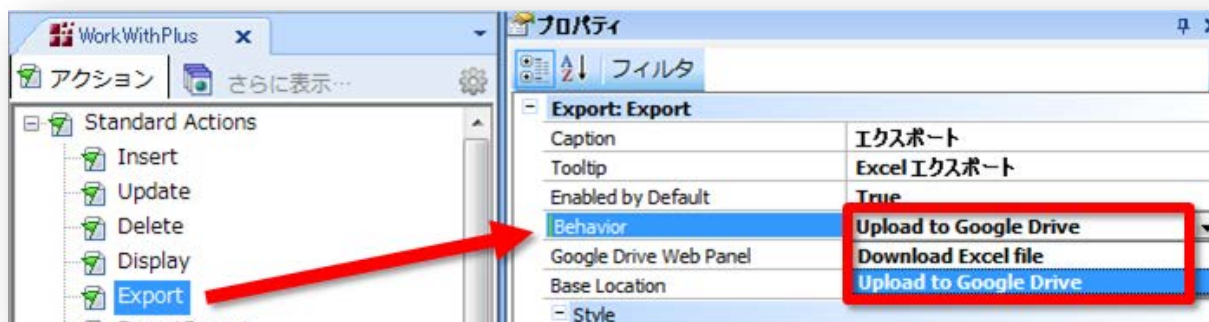
## 目次

<b>新機能</b>	<b>3</b>
Googleドライブへのエクスポートと共有	3
Grid オブジェクトのフィルタの保存と管理	5
Gridオブジェクトのフィルタの消去	6
Bootstrap ユーザーコントロール ::Drop Down Options	8
Action Group Type	8
項目属性および変数のツールチップヘルプ	9
Bootstrap ユーザーコントロール ::Tooltip	11
項目属性および変数の「Invite Message」プロパティ	12
基本的な変数の追加	12
項目属性および変数の「Control Info」に関連付けられているプロパティ	14
Sectionノードの[Width]および[Height]プロパティ	15
Tableノードの[Width]および[Height]プロパティ	15
Tableノードの[Columns Width]プロパティ	16
ExportReportの「Paper Size」と「Paper Orientation」	18
複数のグリッドの同じ項目属性	19
グリッド、項目属性および変数の「Custom」プロパティ	19
Association Selectionの新しいEventBlock	20
適用されていない場合ノードのプロパティを自動的に非表示にする	22
<b>修正済みの問題</b>	<b>23</b>
<b>WorkWithPlus 7.2 - P1</b>	<b>23</b>
AutoPromptおよびPKの一部としてFKでエラーが発生する	23
ビジネスコンポーネントTRN内の確認のアクション	23
AssociationおよびAssociation Selectionで追加された イベントブロック	23
セッションでFixed Filters 演算子が保存されない	23
Fixed Filtersと「Generate Data Selector」プロパティの問題	23
Dynamic FiltersのないFixed Filtersが含まれている場合の問題	24
コードでパネルのタイトルを割り当てる	24

## 新機能

### Googleドライブへのエクスポートと共有

Google ドライブへの Excel 形式のエクスポート機能が追加されました。[WWP Configuration] → [アクション] → [Export] と選択し、[Behavior]プロパティで実行するエクスポートアクションを選択することができます：



[Download Excel file]を選択した場合、エクスポートアクションのボタンを押すと、常にExcelファイルがダウンロードされます。

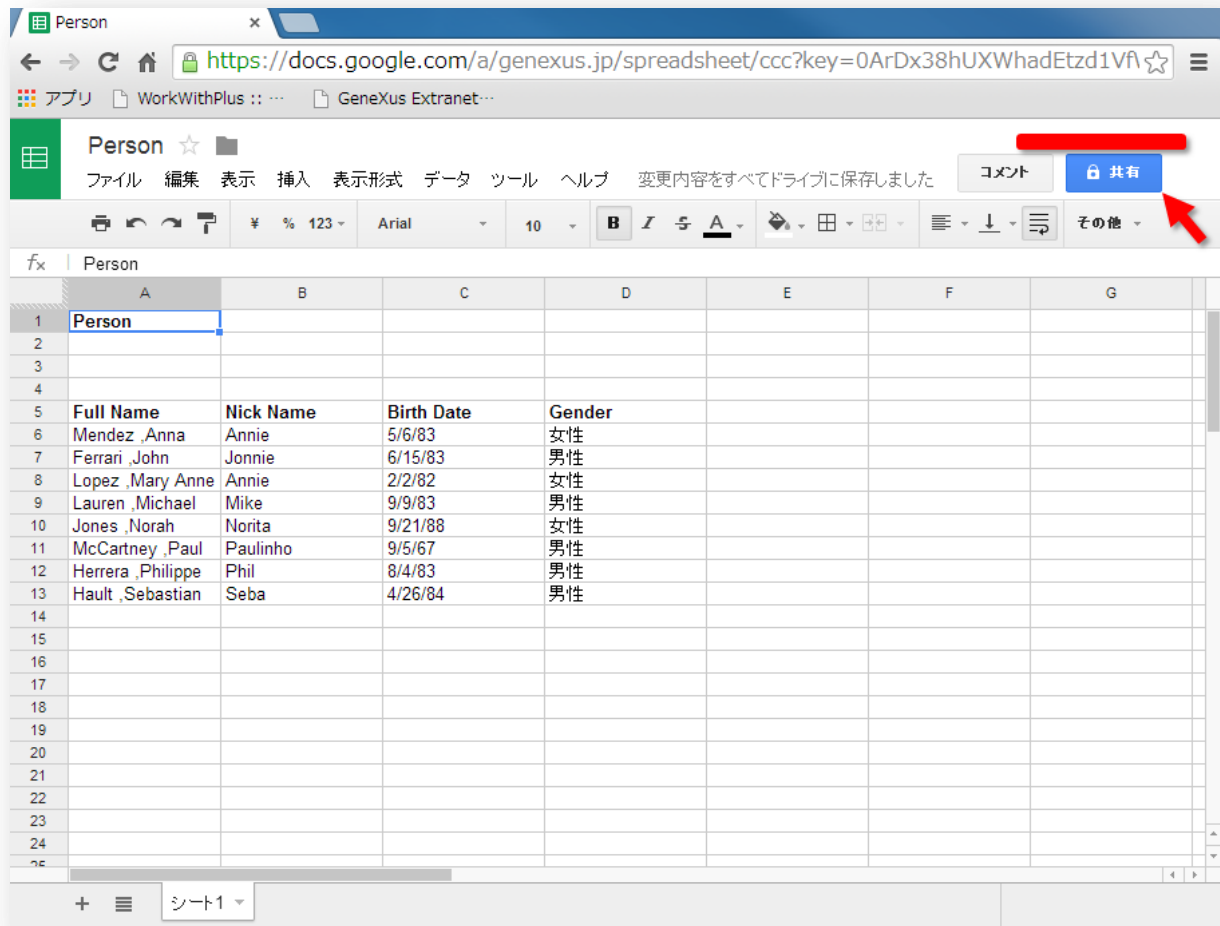
Web Panelを指定する必要があります。インポートされる既定のWeb Panelの名前は「Export Options」です。このWebパネルには、エクスポートアクションのボタンを押したときにディスクにダウンロードするか、Googleドライブにアップロードするかを確認するために必要なロジックが含まれています。



[Upload to Google Drive]を選択した場合、次の情報を入力する必要があります：

- ドキュメントタイトル：Google ドライブにアップロードするドキュメント名を指定します。
- Eメール：ドキュメントをGoogleドライブにアップロードする際のEメールアカウントを指定します。
- パスワード：Eメールアカウントのパスワードを指定します。

[保存]を押すと、ドキュメントが開き、指定したGoogleドライブアカウントに保存されます。

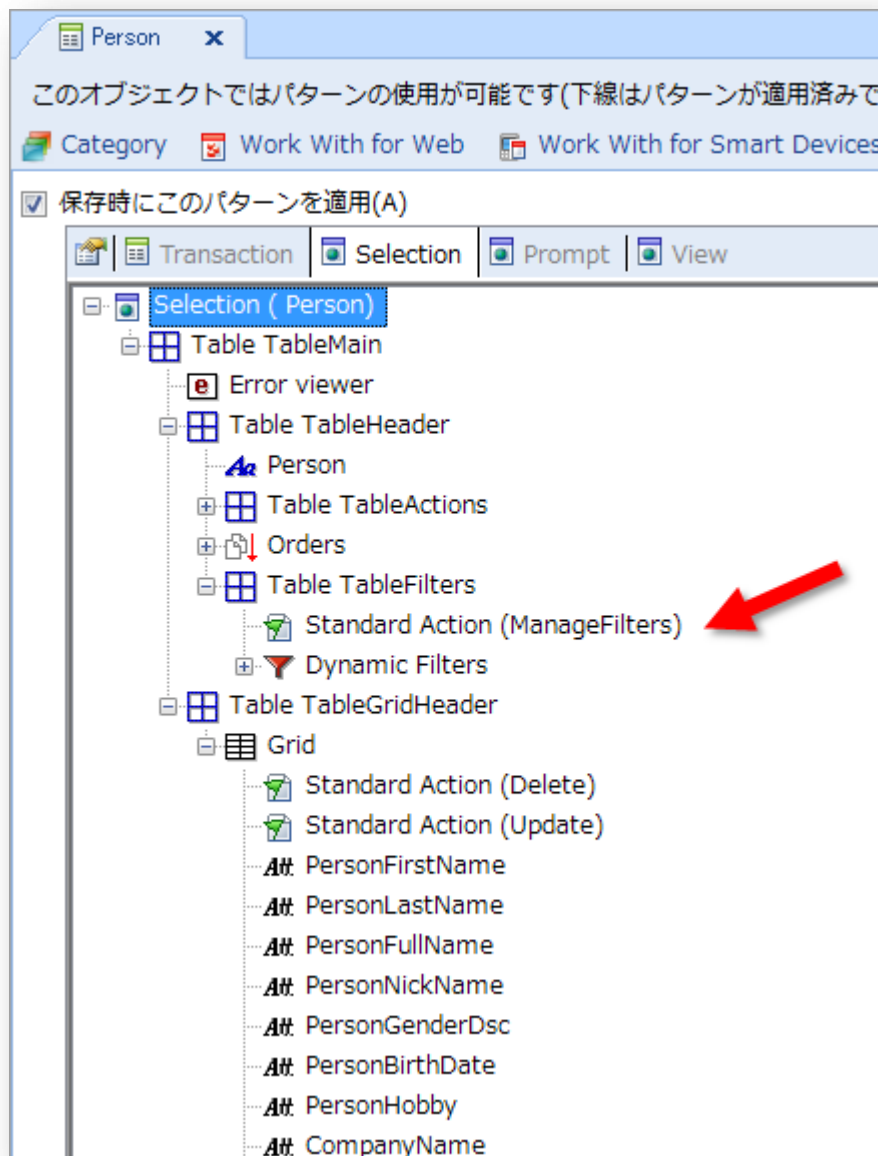


StandardAction(Export)内の設定プロパティを変更するほかに、Web アプリケーション内のいくつかの dlls/jars を配置する必要があります。この方法については、次のリンクを参照してください：[Excel の Goggle ドライブへのアップロードの設定](#)

## Grid オブジェクトのフィルタの保存と管理

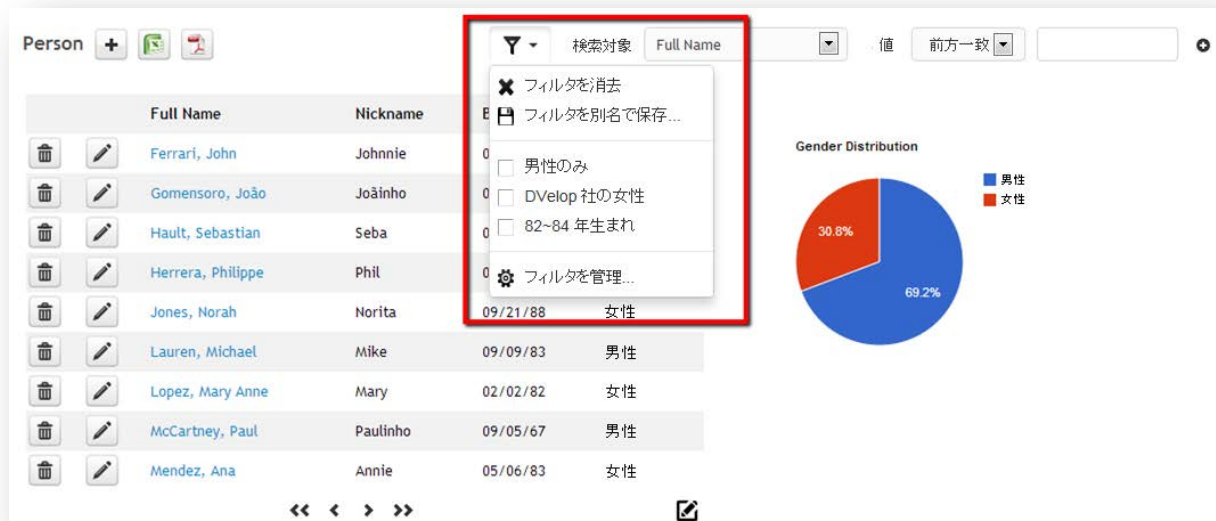
実行時に一部のオブジェクトに適用されるフィルタの値を管理する機能が追加されました。この機能により、エンドユーザーがフィルタの状態を説明付きで保存し、実行時に使用することができます。

このオプションを有効にするには、Grid オブジェクトに[StandardAction (ManageFilters)]を追加する必要があります。



ノードに既定でアイコンや説明を設定することができ、[WWP Configuration] → [アクション] → [ManageFilters]で任意のオブジェクト用に個別にアイコンや説明を設定することもできます。

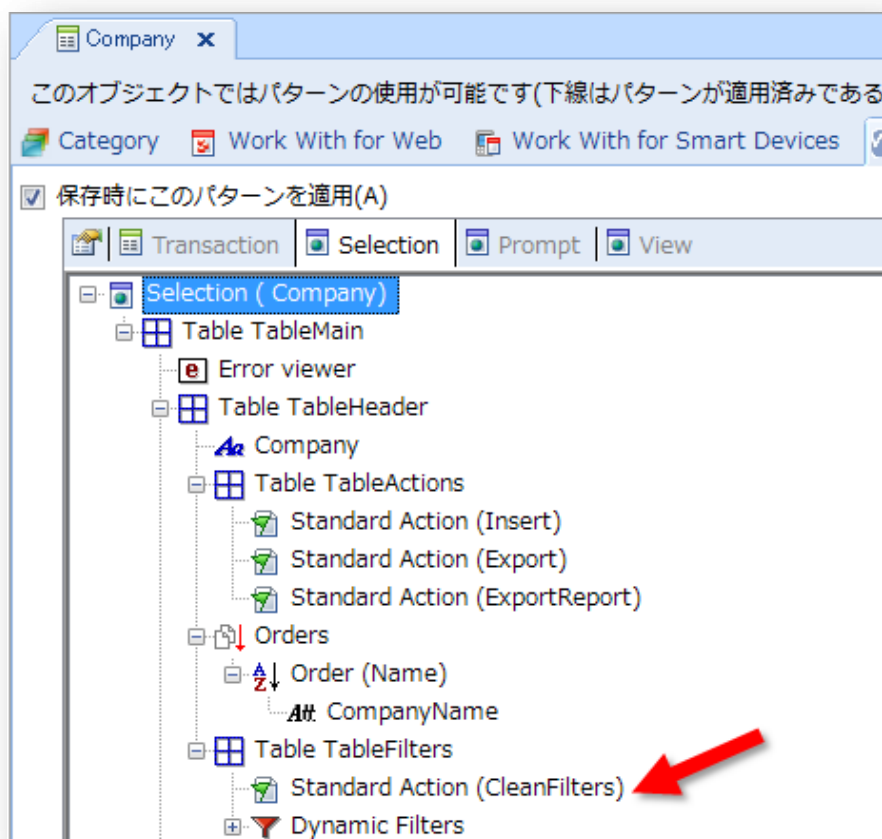
実行時に一部の説明付きフィルタの値を保存するアクションを視覚化し、すべての適用されたフィルタを消去し、一部のフィルタを選択し、説明の削除または変更のために作成されたフィルタを管理することができます。



フィルタ管理の詳細については次を参照してください：[WorkWithPlusヘルプ – フィルタを管理](#)

## Gridオブジェクトのフィルタの消去

一部のグリッドに適用されているフィルタの値を消去する機能が追加されました。この機能を有効にするには、インスタンス内のGrid オブジェクトに[StandardAction (CleanFilters)]を追加する必要があります。





次に実行時に設定したすべてのフィルタを消去するオプションを定義します。

The top panel shows a filtered view of the 'Company' table. The search filters are: Created Date (02/07/12 03:37 PM to 02/21/14 03:37 PM), Name (contains 'a'), and Description (contains 'srl'). The table displays one result: 'El Observador'.

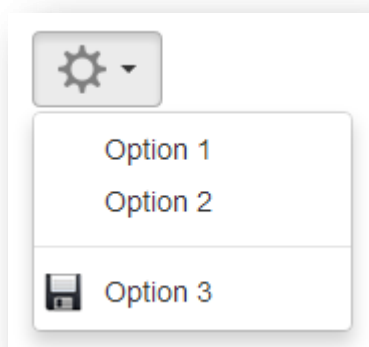
The bottom panel shows the full list view after clicking the 'Reset Filters' button. The search filters are: First Name (empty) and Match (Front). The table displays 11 results:

Company	Name	Description	Url	Location
2	Artech	Artech Consultores SRL	<a href="http://www.genexus.com">http://www.genexus.com</a>	-34.87945,-56.07902
9	Coca Cola	Coca Cola Company	<a href="http://www.cocacola.com.uy">http://www.cocacola.com.uy</a>	-34.91982,-56.16549
5	CUTI	Camara Uruguaya de T.I.	<a href="http://www.cuti.org.uy">http://www.cuti.org.uy</a>	-34.87776,-56.07378
13	Daniel Cassin	Daniel Cassin Ropa		
1	DVelop	DVelop Software Solutions	<a href="http://www.dvelop.com.uy">http://www.dvelop.com.uy</a>	-34.87878,-56.07640
10	El Observador	El Observador SRL	<a href="http://www.elobservador.com.uy">http://www.elobservador.com.uy</a>	-34.88737,-56.06726
6	El Pais	El Pais Digital	<a href="http://www.elpais.com.uy">http://www.elpais.com.uy</a>	-34.90697,-56.20180
3	IBM	IBM	<a href="http://www.ibm.com">http://www.ibm.com</a>	-34.88043,-56.07782
16	Interunion	Interunion Brasil	<a href="http://www.iu.com.br">http://www.iu.com.br</a>	
11	La Cancha	La Cancha Shop	<a href="http://www.lacancha.com.uy">http://www.lacancha.com.uy</a>	-34.89719,-56.07464

## Bootstrap ユーザーコントロール ::Drop Down Options

新しいユーザーコントロールが開発され、WorkWithPlus に搭載されました。このコントロールは「Drop Down Options」という名前で、Bootstrap 3.0 のライブラリに基づいています。このライブラリは、Twitterによって開発されたWebの新しい傾向に合わせた外観と操作性を持つアプリケーションを生成します。

このユーザーコントロールでメニュー項目に関連するアクションのリストを設定することができます。このアクションにより、ほかの Web パネルにリンクしたり、Web パネル内でアクションを実行したりすることができます。主な項目には、説明、アイコンまたはその両方を設定することができます。



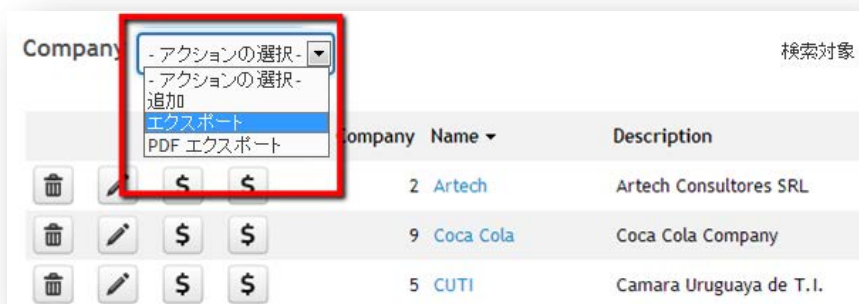
このコントロールは前述のとおり、フィルタの管理機能としてWorkWithPlusによって自動的に使用されます。

また、Gridの外側にあるActionGroupsは、プロパティを[Type]から[Dvelop Bootstrap]に変更することにより、このコントロールを使用して生成することができます。

## Action Group Type

Gridの外側にあるActionGroupsに関連する新しいプロパティが追加されました。このプロパティはAction Group Typeという名前で、開発者はアクショングループの表示方法（ComboBoxまたはDvelop Bootstrap）を定義することができます。このプロパティはActionGroupノードにあり、[WWP Configuration]→[Template]内に既定値があります。

Action Group Type : ComboBox





## Action Group Type : DVelop Bootstrap



関連するプロパティで「アクション」のような説明とアイコンを設定することができます。

## 項目属性および変数のツールチップヘルプ

実行時にツールチップとして表示されるように、項目属性および変数にヘルプの説明文を設定する機能が追加されました。この「Help Text」という名前の新しいプロパティにより、項目属性／変数の各ノードで定義することができ、WorkWithPlusで生成されたすべての対話型オブジェクト（Transaction、Selection、WebPanelなど）で使用できます。

フィールドの値にマウスカーソルを移動させる場合、デスクリプションで表示させる場合、その両方または項目属性などのとなりのアイコン上に表示させる場合など、ヘルプの説明文を表示する場所を定義するオプションがあります。これは、[WWP Configuration] → [Template]ノードで設定することができます。

### Tooltip on Description



## Tooltip on Value

**Person**

詳細情報    追加データ    連絡先

Id    2

First Name    John

 Last Name    Ferrari    

Nickname    Jonnie

Gender    男性 

## Tooltip on Both


デスクリプションと値の両方にツールチップが表示されます。



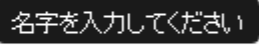
## Information Icon

**Person**


詳細情報    追加データ    連絡先

Id    3



First Name    Michael    

Last Name    Lauren      

Nickname    Mike

Gender    男性 

Gender Dsc    男性

Date    83/09/09     24    

## Bootstrap ユーザーコントロール ::Tooltip

新しいユーザーコントロールが開発され、WorkWithPlus に搭載されました。このコントロールは「DDevelopBootstrapTooltip」という名前で、Bootstrap 3.0 のライブラリに基づいています。このライブラリは、Twitterによって開発されたWebの新しい傾向に合わせた外観と操作性を持つアプリケーションを生成します。

このユーザーコントロールを使用すると、ツールチップをととても魅力的な方法で表示することができます。



Person

詳細情報    追加データ    連絡先

Id    2

First Name    John

 Last Name    Ferrari    名字を入力してください

Nickname    Jonnie

Gender    男性 ▼

一部にはカスタマイズ可能なプロパティがあります：

- Class Selector：このコントロールを適用するツールチップを指定します(項目属性の1つのヘルプに適用することも、アプリケーションのすべてのツールチップに適用することもできます)。
- Default Position：既定のツールチップの場所を指定します。
- Control Name：フォーム上のコントロールの名前を指定します。
- Delay properties：ツールチップを表示するまでの各コントロールの遅延時間をミリ秒単位で指定します。ボタン、ラベル、入力、および画像が対象となります。ツールチップの非表示の遅延を設定するための、別のプロパティがあります。

このコントロールは、項目属性および変数の機能のためにWorkWithPlusによって自動的に使用されます。

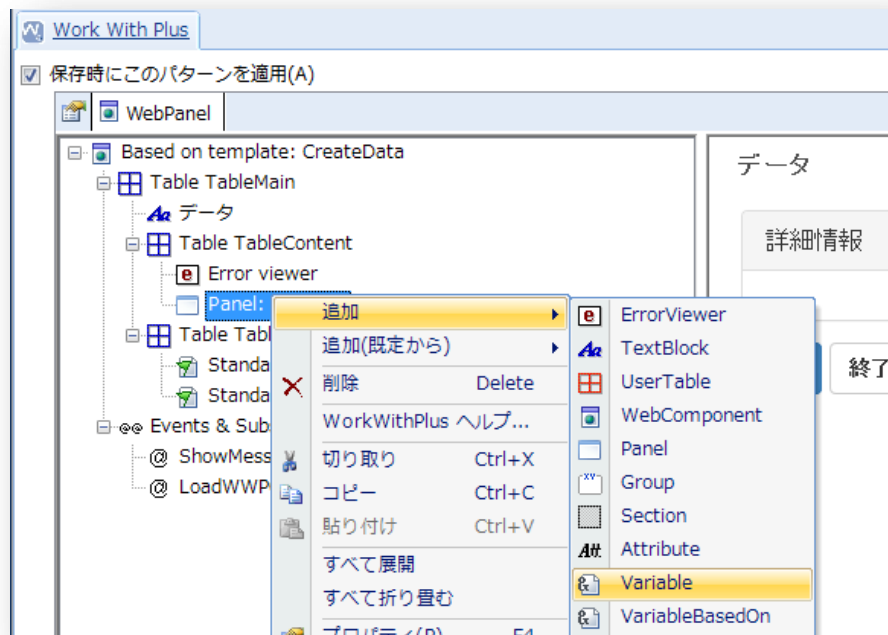
## 項目属性および変数の「Invite Message」プロパティ

「Invite Message」（入力案内）という名前の新しいプロパティが項目属性と変数に追加されました。このプロパティでは、エンドユーザーが入力すべき内容を項目属性のフィールドに表示するためのメッセージを開発者が設定することができます。エンドユーザーがフィールドに入力を開始すると、そのメッセージは消えます。これは、ナレッジベースの [Document type] プロパティが [HTML5] の場合にのみサポートされます。

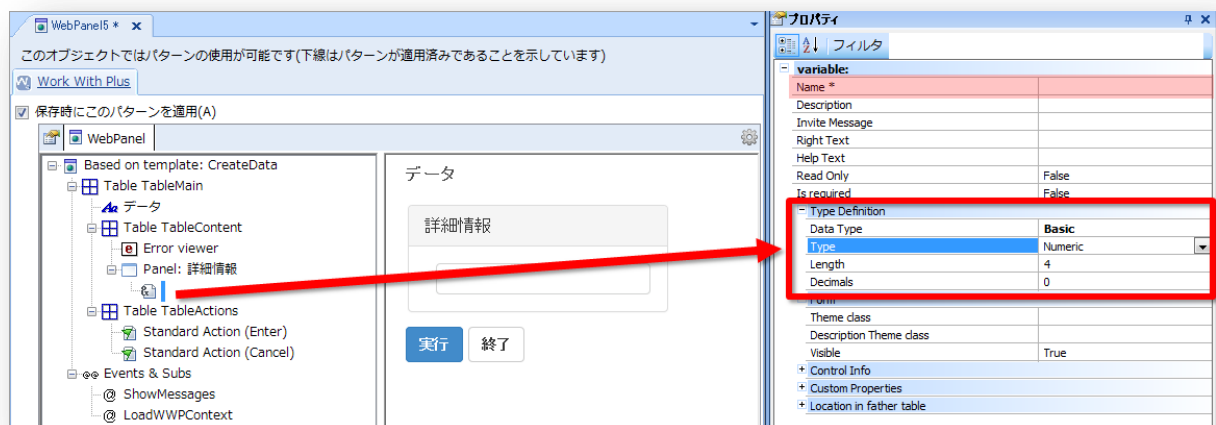


## 基本的な変数の追加

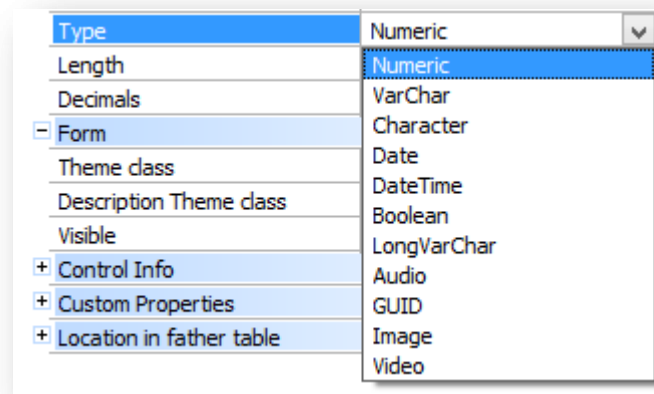
項目属性、ドメイン、SDT または BC に基づく必要のない、基本的な変数を追加する機能が追加されました。テーブルまたはグリッド上で右クリックすると、2つのオプションが表示されます：Variable および VariableBasedOn



[追加]→[Variable]と選択すると、次のプロパティが表示されます：



これらのプロパティを使用すると、タイプ、長さ、および必要に応じてほかのプロパティを設定することができます(Numeric 型の場合、小数のみを扱うなど) 。[Data Type]プロパティを[Basic]に変更すると、この変数に基づく、項目属性、ドメイン、SDT、または BCを選択する必要があります。



## 項目属性および変数の「Control Info」に関連付けられているプロパティ

項目属性および変数用の新しいプロパティのセットが追加されました。これらのプロパティは [Control Type]に関連しています。プロパティは次のとおりです：

**Control Info**：変数または項目属性が一部のドメインまたは項目属性に基づく特定のコントロールタイプである場合や、定義をカスタマイズする場合に指定します。このプロパティを既定の値 (Based on)で[Control Info based on]プロパティを[(none)]のままにしておく場合、変数の Control Typeはその定義と同じになります。

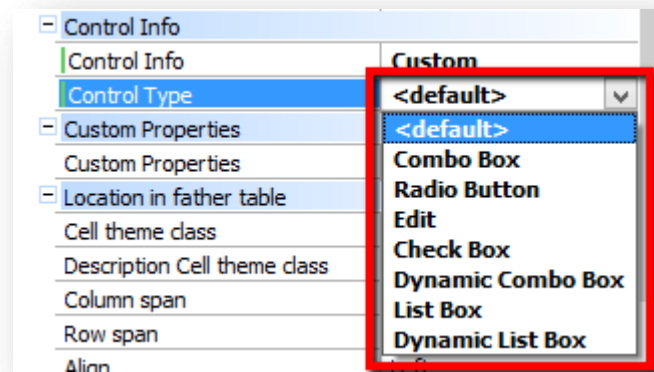
[Control Info]プロパティの値によっては、いくつかのプロパティが自動的に表示または非表示になります。

### Control Info : Custom

Control Info	
Control Info	Custom
Control Type	<default>

**Control Type**：項目属性のコントロールタイプを指定します。

GeneXusのコントロールタイプ用のほとんどのオプションは、このプロパティでサポートされています。



選択したコントロールタイプに応じて、その他のプロパティが表示されます。たとえば、[Control Type]が[ConboBox]の場合、[Values]および[Empty Item]が表示されます。

### Control Info : Based on

Control Info	
Control Info	Based on
Control Info based on	(none)
Conditions (Dynamic controls)	

[Based on]を選択する際に表示されるこのカテゴリ内のプロパティは既に存在しているものです。

## Sectionノードの[Width]および[Height]プロパティ

[Width]および[Height]プロパティが[Section]ノードに追加されました。このプロパティでは px (例：150px)を使用した固定幅の設定またはパーセント(例：100%) を使用した割合を設定することができます。

## Tableノードの[Width]および[Height]プロパティ

[Width]および[Height]プロパティが[Table]ノードに追加されました。このプロパティでは px (例：150px)を使用した固定幅の設定またはパーセント(例：100%) を使用した割合を設定することができます。

## Tableノードの[Columns Width]プロパティ

[Columns Width]プロパティが[Table]ノードに追加されました。このプロパティは、テーブル内の列の幅を指定します。このプロパティのいくつかの考慮事項：

- このプロパティが空の場合、各列が固定幅に設定されず、指定するコントロールとテーマクラスに占有されます。
- このプロパティを使用する場合、固定値(例：100px)を使用して各列を設定するか、各列幅を個別の割合(例：20%)を使用して設定する必要があります。

### 例

Tableノードに4列あり、各列に固定幅を設定する場合、次の値を設定することができます：**20px;30px;40px;10px**

次のような値を設定することができます：**20px;50%;30px;50%**

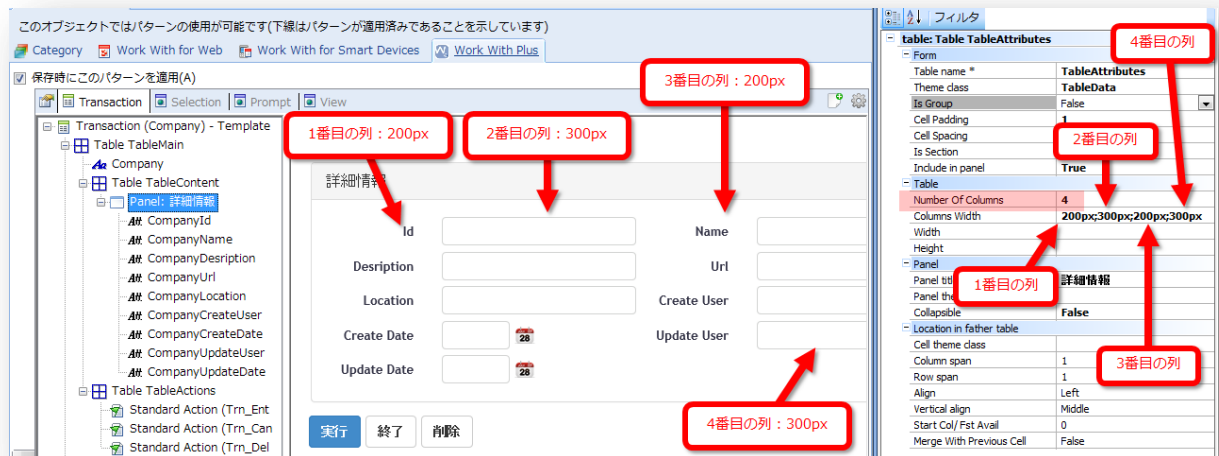
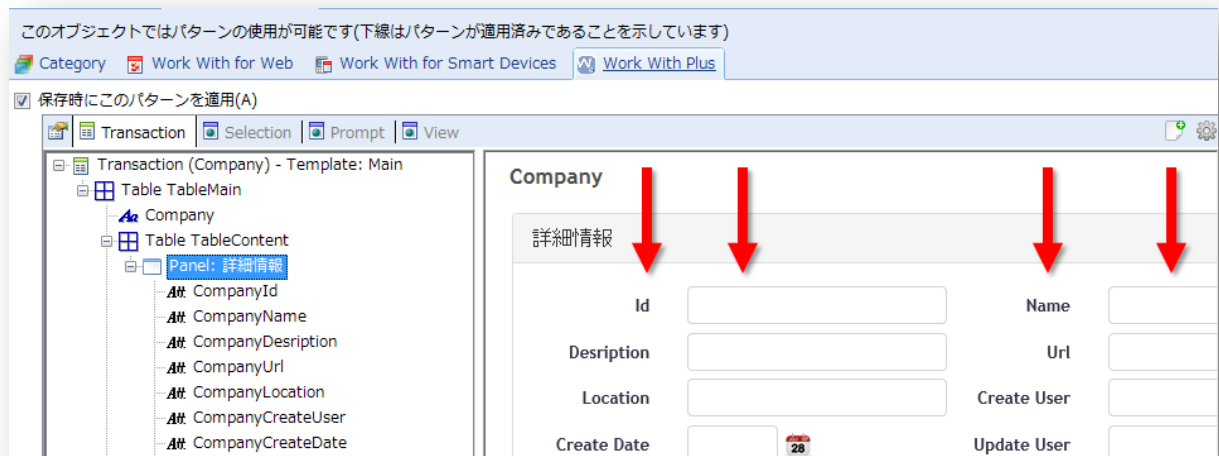
パーセントのみを使用することもできます：**10%;20%;50%;20%**

- 重要：パーセント値が含まれている場合、列に設定したパーセント値の合計は100になる必要があります。
- 列に実際の値を設定するために、一部の列を空の値のままにしておくことができますが、ここで定義した列の合計値はテーブルが持つ実際の列の合計値と一致する必要があります。たとえば、4列のテーブルがあり、最初の列にのみ固定値を設定する場合、次のように設定することができます：**25px;;;** 最初の値を25pxに設定し、2つ目以降をすべて空に設定します。別の例として、3つ目の列に100%を設定し、ほかのすべての列に実際の値を使用する場合には、次のように設定する必要があります：**;;100%;**

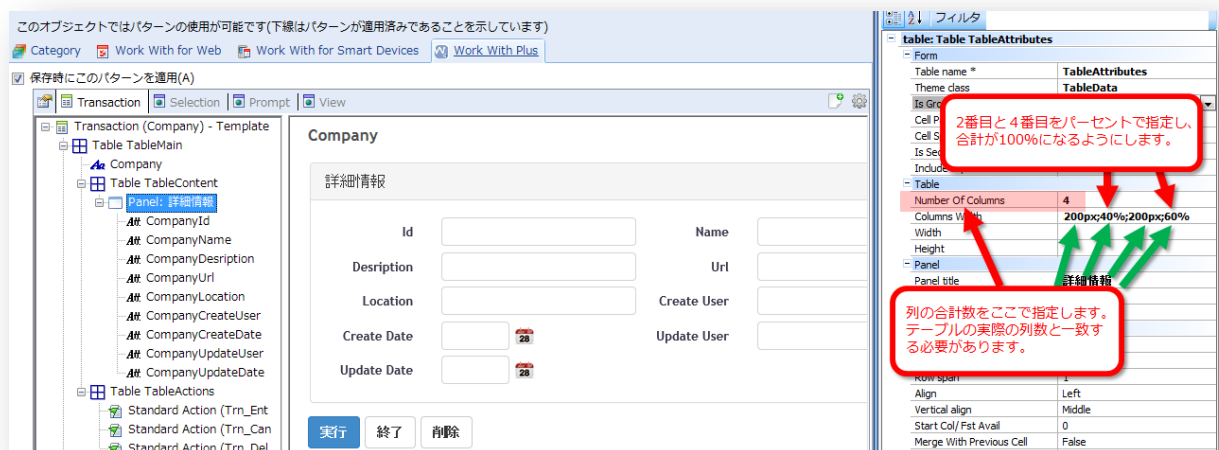
これは、一部の列を固定幅にする必要がある場合、または、ある列を100%の幅に設定し、残りの列に実際の値を設定する必要がある場合に便利です。



## 例1：4列のテーブルと固定値を持つ各列

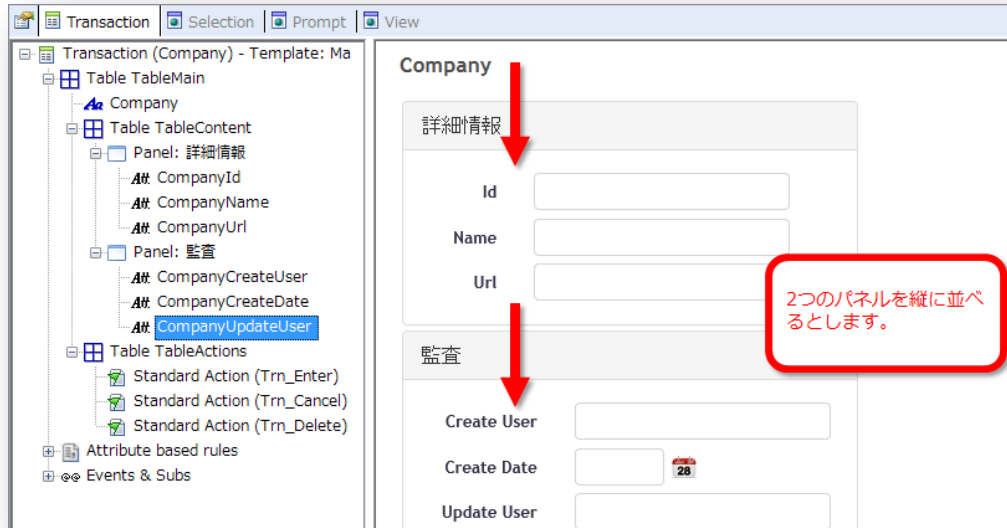


## 例2：4列のテーブルとパーセントで設定した固定値を持つ一部の列

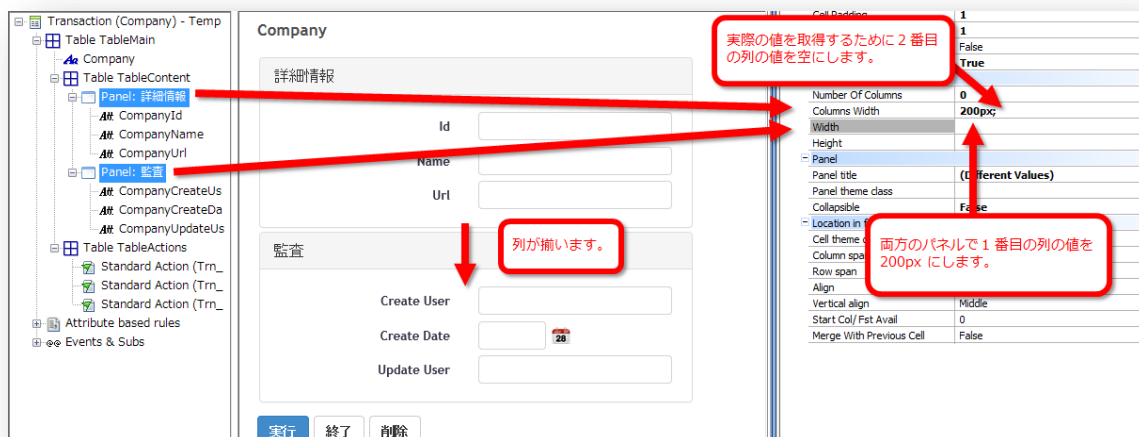


### 例3：2つのパネル内の最初の列に揃える

次のような2つ並んだパネルがあり、最初の列に両方のパネルを揃えたいとします：



最初の列の固定幅をピクセルで設定します：



## ExportReportの「Paper Size」と「Paper Orientation」

[PaperSize]と[PaperOrientation]プロパティがStandardAction (ExportReport)のインスタンスに追加されました。これらのプロパティは、以前のバージョンのWorkWithPlusにもありましたが、StandardActionの一般的なプロパティとして存在していました。

これらのプロパティにより、たとえば一部のPDFをA4サイズで生成したり、別のPDFをレターサイズで生成したりすることができます。またそれぞれを縦向きまたは横向きで生成することもできます。

## 複数のグリッドの同じ項目属性

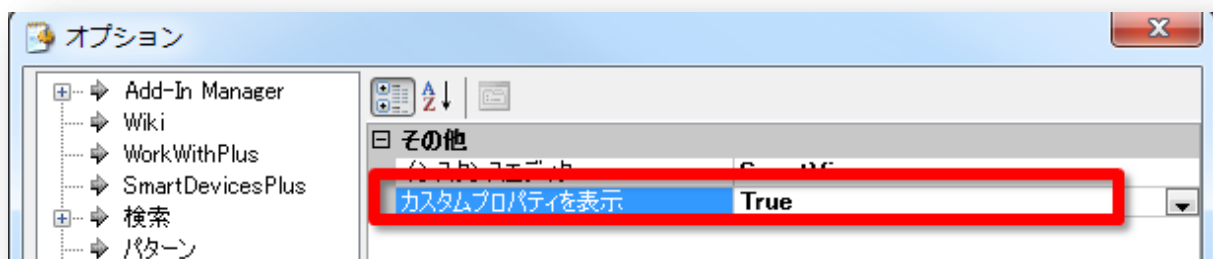
異なるグリッドの同じ項目属性をWebパネルに追加する機能が追加されました。この機能は、ベーステーブルに複数のグリッドがあり、各グリッドに同じ項目属性を表示する必要がある場合に役立ちます。

## グリッド、項目属性および変数の「Custom」プロパティ

新しいプロパティがグリッド、項目属性、および変数に追加されました。このプロパティは、WorkWithPlusツールオプション([ツール]→[オプション]→[WorkWithPlus]と選択)で[カスタムプロパティを表示]が[True]の場合にのみ使用できます。

このプロパティは、インスタンス内で使用できないフォームにグリッドコントロール、項目属性コントロール、および変数コントロールのプロパティを設定することができます。これは、高度なプロパティとして、特定のシナリオの場合に使用されます。

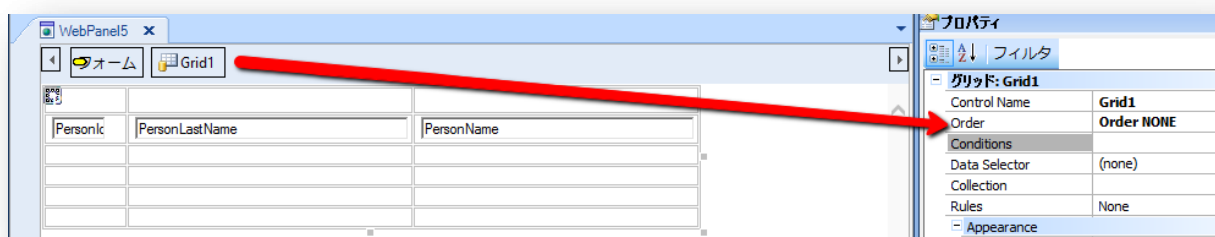
このプロパティは、WorkWithPlusツールオプション([ツール]→[オプション]→[WorkWithPlus]と選択)で[カスタムプロパティを表示]が[True]の場合にのみ使用できます。

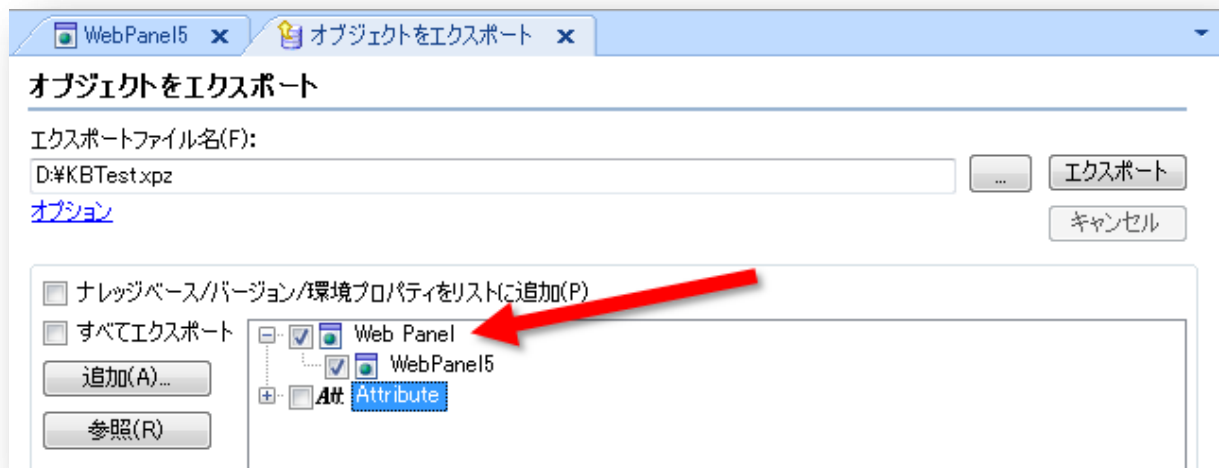


### 構文

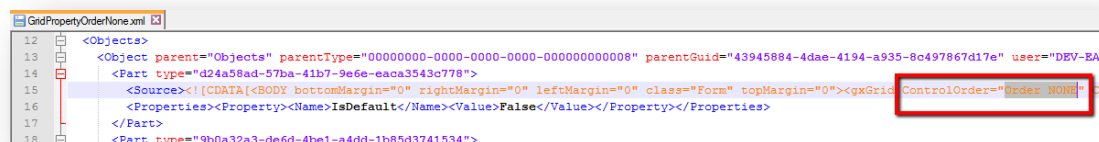
一部のプロパティをグリッド、項目属性、変数に設定するには、同じ方法で割り当てるために、GeneXusにどのように割り当てるかエクスポートされたオブジェクトで視覚化する必要があります。

たとえば、グリッドに「Order NONE」というコマンドを設定する必要がある場合、GeneXusがどのようにプロパティをXMLに保存するかを知っておく必要があります。このため、これを知る1つの方法は、あるグリッドのWebパネルでXMLとしてエクスポートするために、[Order]プロパティにこの値を追加することです。

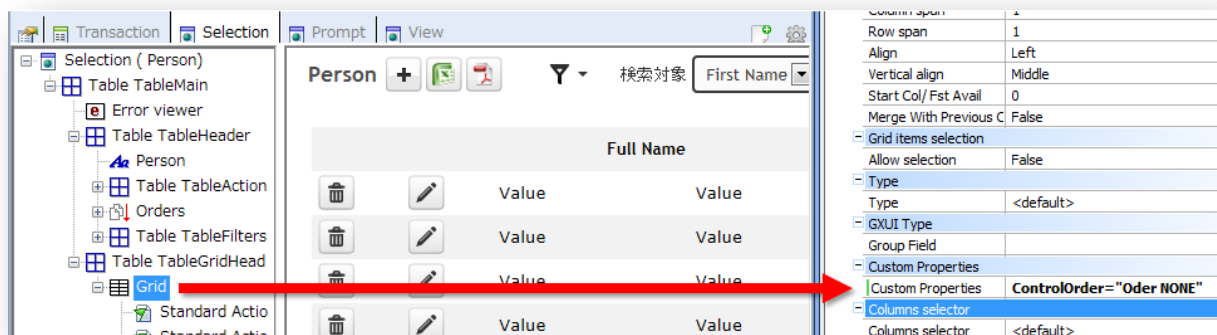




次に、XMLを開いて、プロパティ(ここでは「Order NONE」)を検索します。



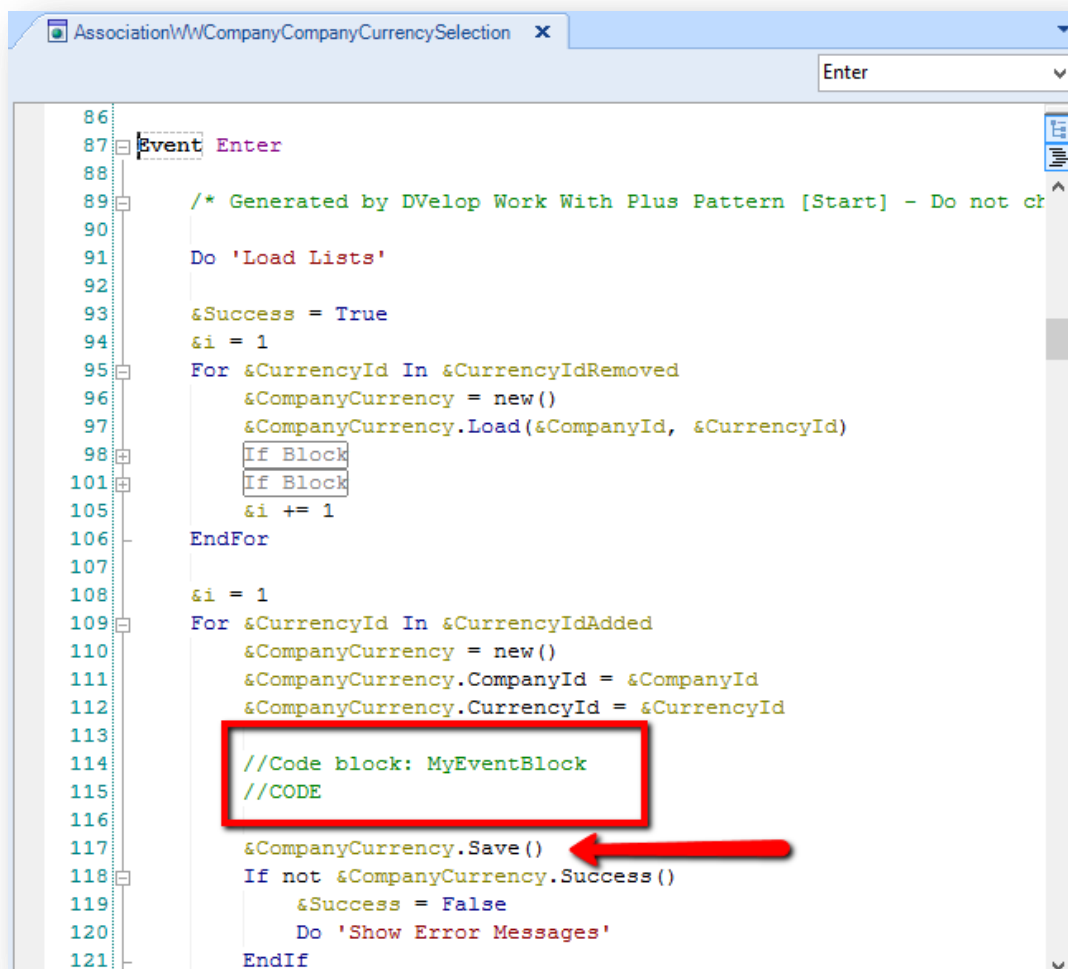
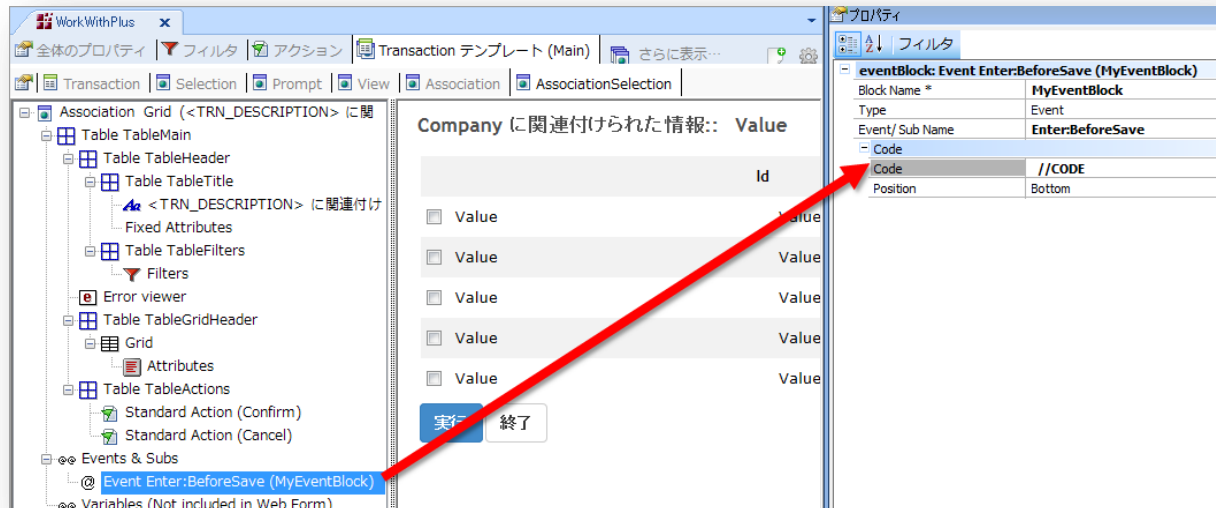
Gridノード内の[Custom Properties]にプロパティをコピーする必要がある値は次のとおりです：



セミコロン(;)で区切ることで、複数のプロパティにコントロールを設定することができます。

## Association Selectionの新しいEventBlock

Association Selection オブジェクトに[EnterBeforeSave]という名前の新しいイベントブロックが追加されました。このイベントブロックでは、それぞれの新しい関連レコードが追加される前に、動作を追加することができます。たとえば一部の項目属性に値を設定します。





## 適用されていない場合ノードのプロパティを自動的に非表示にする

Table、UserAction、StandardAction などのインスタンス内の多くのノードで、適用されていない場合、一部のプロパティが自動的に非表示になります。

たとえば、Tableのプロパティ[Include in Panel]が[False]の場合、パネルに関連するすべてのプロパティは非表示になります。これを[True]に変更すると、自動的に表示されます。

別の例では、一部のUserActionのタイプが[Button]の場合、UserActionのタイプが[Image]に関連するすべてのプロパティが表示されます。



## 修正済みの問題

### *WorkWithPlus 7.2 - P1*

#### **AutoPromptおよびPKの一部としてFKでエラーが発生する**

[AutoPrompt]が[True]で外部キーが主キーの一部である場合にエラーが発生していた問題が解決しました。このエラーは、インスタンスの保存中に「オブジェクトのインスタンスにオブジェクトが設定されていません」といった内容が表示されてしまうものでした。

#### **ビジネスコンポーネントTRN内の確認のアクション**

ビジネスコンポーネントとして設定されたトランザクションに追加された確認のUserActionで発生していた問題が解決しました。これは、GeneXusがトランザクションを特定しようとしているときに、エラーが表示されるという問題でした。

#### **AssociationおよびAssociation Selectionで追加されたイベントブロック**

AssociationおよびAssociation Selectionのテンプレートにイベントブロックを追加する際に発生していた問題が解決しました。この問題は、Associationオブジェクトにプロパティを追加できないという問題でした。

#### **セッションでFixed Filters 演算子が保存されない**

Fixed Filtersに関連付けられた演算子がセッションに保存されず、エンドユーザーは、一部のFixed Filtersの値を変更してから、アプリケーションの別の部分に移動する必要があり、このオブジェクトに戻る際にフィルタとして使用する演算子(一部のフィルタの内容によってフィルタリングする場合など)がありませんでした。この問題が解決しました。

#### **Fixed Filtersと「Generate Data Selector」プロパティの問題**

Gridオブジェクトで[Generate Data Selector]プロパティが[True]に設定されていて、Fixed Filtersを含んでいる場合、これらのフィルタに関連付けられているパラメータはData Selectorのパラメータに含まれませんでした。



## Dynamic FiltersのないFixed Filtersが含まれている場合の問題

Dynamic FiltersのないFixed Filtersがある場合に発生していた問題が解決しました。この問題は、Dynamic Filtersに関連付けられているJavascriptのテキストブロックが追加される際、Start イベントに関連するコードが存在しない場合に発生していました。これは画面上でJavascriptが可視になっていることが原因でした。また、（表示または非表示にすべきかどうかをチェックする）各Dynamic Filtersに関連付けられている変数がフォームに追加されると、それらを非表示にするためのコードが機能せず、これらの変数は表示されていました。

## コードでパネルのタイトルを割り当てる

イベントにコードでBootstrapパネルのタイトルを割り当てようとする際に発生していた問題が解決しました。これは、タイトルプロパティがイベントでの割り当てに使用できないという問題でした。